

栄養やまなし No. 102

公益社団法人山梨県栄養士会 〒400-0805 甲府市酒折一丁目1-11 ☎055-222-8593 平成28年1月



1～5月の行事予定

石坂恵子名誉会長叙勲受章祝賀会	1月30日(土)古名屋ホテル
生涯教育研修会	2月20日(土)山梨学院短期大学
新任者研修会	2月27日(土)山梨学院短期大学
栄養業務研究発表会	2月27日(土)山梨学院短期大学
平成28年度生涯教育研修会	5月28日(土)ぴゅあ総合

目

新年のご挨拶	
会長 田草川憲男	2
これからの研修会等の予定	
・生涯教育研修会(平成27年度 第8回)	3
・平成27年度 第26回栄養業務研究発表会	3
・平成28年度日本栄養改善学会	3
・栄養士新任者研修会	3
・第30回管理栄養士国家試験	3
・研究発表会発表要旨	4
お知らせ	
・栄養士会のWEBサービスを利用しましょう	5
・平成27年写真で見る山梨県栄養士会の主な活動	6
各種事業・研修会等実施のようす	
・歯の衛生週間に伴う栄養相談の実施状況	9
・特定保健指導研修会を開催しました	10
・食生活と植物油栄養に関する講演会を開催しました	10
・インスタントラーメン「健康と栄養」セミナーを開催しました	10
・いきいき山梨ねんりんピックでの取り組み	10
・健康づくり提唱のつどいを開催しました	10
・県民の日記念行事での栄養相談の取り組み	11
・県栄養管理研修会を実施しました	11
・すこやか山梨21推進大会に参加しました	12

次

・出前栄養相談事業	12
旭日双光章受章おめでとうございます	13
厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます	14
山梨県知事表彰受賞おめでとうございます	15
栄養士制度・栄養士会誕生70年記念事業	
表彰受賞おめでとうございます	16
「会員の声」	17
職域事業部のコーナー	
学校健康教育事業部	19
公衆衛生事業部	19
研究教育事業部	20
勤労者支援事業部	20
地域活動事業部	21
医療事業部	21
福祉事業部	22
訪問栄養指導の現場から	
・山梨市立牧丘病院管理栄養士 小佐野会員	23
新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます	
・公益社団法人 山梨県栄養士会役員一同	27
・公益社団法人 山梨県栄養士会賛助会員	28
事務局からのご案内	30



年頭にあたって 管理栄養士・栄養士として県民の健康づくりを考えよう

公益社団法人 山梨県栄養士会会長 田草川 憲男

平成 28 年の新しい年にあたり、皆様とともに実践したいことをお伝えします。

1 「低栄養」への取組が大切です。

高齢者の低栄養・20 歳前後の女性の低栄養問題は、管理栄養士・栄養士がもっともっと問題意識を持って、取り組まなければなりません。

高齢者の低栄養が見過ごされています。

たんぱく質やエネルギーが欠乏した状態が続き低栄養状態になると、筋肉や内臓などの働きが衰えて毎日を活動的に過ごせなくなり、免疫力が低下して感染症などにもかかりやすくなります。また、病気になると回復が遅く、薬も効きにくくなるなどの問題も生じます。

加齢とともに食べ物を噛んだり、飲み込む機能が低下してきます。その機能が落ちてきた高齢者には、その状態に合わせた食べ物・食べ方が必要になってきます。また、噛むことが不完全では、食べ物に含まれる大切な栄養素も十分に摂れません。きちんと噛むことは、栄養を摂るためのスタートです。

多職種協働で取り組むべき課題ですが、我々から問題提起しないと課題として上がって来ないことがあります。

今後、在宅療養者が増える中、管理栄養士・栄養士の役割をアピールするために、次のような資質を身につけなければなりません。

- 1) 痩せてきた方へのアドバイス
食べる量が心配な方やご家族へ、ちょうど良い食事の量や栄養補助食品の使い方などの提案
- 2) 介護食へのアドバイス
ミキサー食の作り方や飲み込みやすい食品の選び方など状況に合わせた調理方法の提案
- 3) 退院した後の食事の作り方
退院してきたけど、食欲がなく治療回復に不安な方へ配慮しなければならない食品や調理方法についてのアドバイス
- 4) 食事管理の仕方
糖尿病・腎臓病等の食事療法についても、嗜好に合わせ、食事が楽しくなるような指導
- 5) お総菜や外食の選び方
お総菜や外食を利用して食事療法をやりたい方に、お総菜の栄養価や外食の選択方法の指導
つぎに、20 歳前後の女性の低栄養は、低出生体重児や将来の骨粗鬆症を招く恐れがあります。
これらの健康問題を地域や職場（職域）の人々に「食生活の問題」として誰が浸透（普及啓発）させていくのか。それは我々 管理栄養士・栄養士です。公衆衛生事業部や地域活動事業部では地域の健康問題としてすでに取り組んでいます。職域への普及啓発は、喫食者の食育活動としてもっともっと取り組むべきです。

2 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防における食生活等との関わりでは、禁煙・バランスのとれた食生活・適度な運動の普及にさらに取り組みましょう。

3 CKD（慢性腎臓病）予防では、高血圧・糖尿病・脂質異常症など食生活の関わりが大切であり、食生活指導の果たす役割が大いに期待されます。

今後とも、県民の皆様の健康づくりのための活動に対し、皆様の積極的かつ前向きなご意見をお待ちしています。（参考資料：公益社団法人日本栄養士会発行、健康増進のしおり・介護予防リーフレット、公益社団法人新潟県栄養士会栄養ケアステーション発行、訪問栄養食事指導のご案内）

これからの研修会等の予定

生涯教育研修会（平成27年度 第8回目）

と き	平成28年2月20日（土） 10：00～15：40
ところ	山梨学院短期大学51号館
内 容	
講 演	10：00～11：30 演題 次世代の栄養政策2 ほ乳機能と摂食機能について 講師 日本歯科大学 教授 田村 文誉先生
講 演	12：30～14：00 演題 非常食の食事提供 講師 山梨大学医学部附属病院 栄養管理部部長 小林貴子先生
講 演	14：10～15：40 演題 地域診断の進め方 健康づくり及び栄養・食生活改善に関する効果的施策展開 講師 新潟県上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 主査 磯部澄江先生

栄養士新任者研修会

と き	平成28年2月27日（土） 9:30～12:00
ところ	山梨学院短期大学 甲府市酒折2－4－5
＊日常の業務での悩みや、効率的な仕事の工夫等、先輩栄養士の話を聞き、また直接相談出来るチャンスです。ぜひふるってご参加を！！	

平成27年度 第25回栄養業務研究発表会

と き	平成28年2月27日（土） 13:00～15:30
ところ	山梨学院短期大学
内 容	各職域事業部の代表者による研究発表7題 （発表要旨は4 ページ参照）

平成28年度日本栄養改善学会

と き	平成28年9月7日～8日
ところ	青森県

石坂恵子名誉会長叙勲受章祝賀会のご案内

皆様でお祝いするため、会員の皆様のご参加をお願いいたします。

と き	平成28年1月30日（土）
ところ	古名屋ホテル 甲府市酒折2-4-5
申込みが必要です。詳しくは、同封のご案内をご覧ください。	

第30回管理栄養士国家試験

試 験 日	平成28年3月20日（日）
願書受付期日	平成28年1月8日（金） ～1月15日（金）
厚生労働省より、受験要領・願書が山梨県栄養士会事務局に届いています。	

必要の方は、郵送料として切手205円を同封して山梨県栄養士会に申込んで下さい。希望者に郵送いたします。
☆管理栄養士資格取得後は栄養士会に、変更のご連絡をお願いします。

平成27年度（第26回）栄養業務研究発表会（山梨県ミニ栄養改善学会）発表要旨

日時 平成28年2月27日（土）
13時00分～15時30分
会場 山梨学院短期大学
内容 各職域部会より研究発表7題

学校健康教育学部

丹波山村立丹波小学校 栄養教諭 小池 ゆき
「給食を通して食文化を伝える取り組み」
＜要旨＞中食・外食の進展や孤食等を背景として、郷土料理や行事食、旬の食材の継承が危ぶまれている。そこで地域の食材や旬の食材を給食に取り入れ、風土に合わせ長い時間をかけて育まれてきた食文化の価値に気付かせ、それを見直す機会を作りたいと考えた。また本校の多くの児童は、高校進学とともに親元を離れ、生活をしていかなければならない。このような課題点も意識しながら行った2年間の取り組みを紹介する。

公衆衛生事業部

中北保健所 廣瀬 真美
演題「平成26年度県民栄養調査に関する県・保健所栄養士の取り組み」
山梨県では5年に1度県民栄養調査を実施している。昨年度は、県民の健康状態、食物摂取の状況、生活習慣の状況及び健康に関する意識を明らかにし、健康増進計画「健やか山梨21（第2次）」及び「第2次食育推進計画」をはじめとする健康づくり施策の展開及びメタボリックシンドローム対策推進のための基礎資料とし、県民の健康増進と生活習慣病予防の推進を図ることを目的に実施した。
今回、調査結果と検討している今後の取り組みについて報告する。

研究教育事業部

山梨学院大学健康栄養学部 古閑美奈子
演題「山梨県民の食塩摂取の現状ー平成26年度県民栄養調査結果よりー」
目的：山梨県民の食塩摂取状況を明らかにする。
方法：平成26年度調査の20歳以上の対象者延べ631人（複数日調査対象者107人を含む）のうち、摂取エネルギー量が500kcal/日以下の7人を除く624人を対象とした。全国の調査結果および平成21年度県民栄養調査結果と比較した。また、食品群別摂取量を性・年齢階級別に比較した。
結果・考察：食塩摂取量は40歳代の男性が12.0g、女性が9.9gであり、全国より多かった。平成21年調査と比較すると、特に女性の摂取量が減少しており、減塩が進んでいることがうかがえた。食品群別にみると、男性では40歳代、女性では60歳代において調味料からの摂取が多かった。

地域活動事業部

堀川 清美
演題「まちなか健やかサロンの食育教室に関わって」
乳幼児を育てる保護者を対象に食育教室を担当しています。食事の正しい習慣や、食事の大切さを伝え、乳幼児の月齢や年齢に応じた食生活について食事量や調理方法なども含めてアドバイスしております。また保護者の食事に対する悩みなども一緒に解決していきます。
月毎にテーマを決めて講和もしています。食事が楽しい時となってくれる事を願いながら関わっています。
食育教室で実施した内容やその中で感じたこと、保護者のアンケート結果を発表します。

勤労者支援事業部

公益財団法人キープ協会 キープ自然学校 大柴 由紀

大学体育会男子学生の朝食意識調査＜要旨＞
日本人の朝食欠食率について、課題視されるようになって久しい。厚生労働省より発表されている「平成25年の国民健康・栄養調査結果の概要」では、朝食の欠食率を性・年齢階級別にみると、男女ともに20歳代で最も高く、男性で30%とある。本調査では大学体育会男子学生を対象としたアンケート調査を行い、朝食欠食率を調査すると共に、欠食してしまう理由を具体化した。

医療事業部

山梨大学医学部附属病院 栄養管理部 岩間 梨歩

平成27年度 塩分制限食提供患者を対象とした嗜好調査
＜要旨＞塩分制限食を摂取する入院患者を対象に調査を行い、塩分制限食の質および満足度向上と、食事療法への理解を深め、より効果的な栄養指導の方法について検討することを目的とした。対象患者に調査用紙を配布、後日記入用紙を回収し、集計を行った。回収した対象患者の過半数が現在の病院食に満足しているとの結果が得られた。一方、不満と答えた患者の多くは味の薄さに物足りなさを感じていた。栄養指導歴の有無別では、減塩に対する指導歴がある患者が全体の約4割にとどまっていたことから、今後より多くの指導をしていく必要があると考えられた。

福祉事業部

特別養護老人ホーム 笛吹荘 小泉 和子
演題「食事の常食化への取り組み」
国際医療福祉大学大学院教授の竹内孝仁先生の理論：「水分1日平均1500ml以上摂取し、意識レベルを上昇させ、常食の食事を食べ、歩行し、トイレで排泄しおむつゼロを目指そう」という研修に平成23年から介護職員が参加し、実践しています。その取り組みについて食事を中心に報告したいと思います。

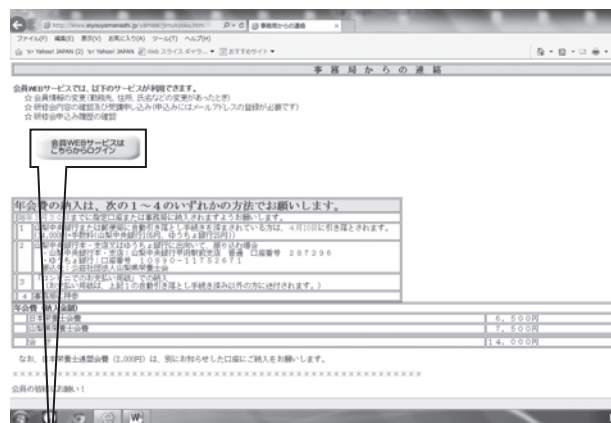
お知らせ

栄養士会のWEBサービスを利用しましょう！！

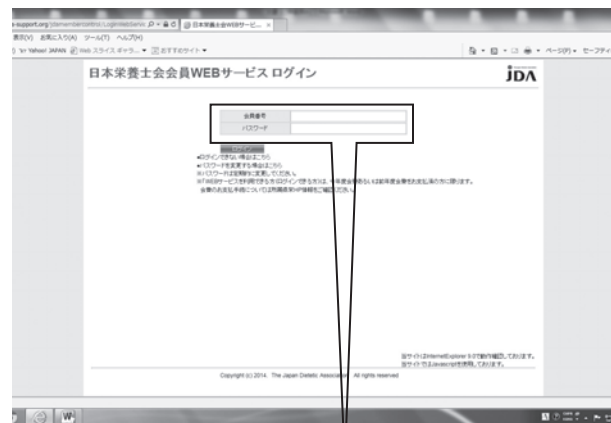
1. WEBサービスを利用するためのIDとパスワードはご存じですか？
不明の会員様は山梨県栄養士会事務局にお尋ねください。
2. WEBサービスで何ができるの？
（1）住所や氏名、資格等、自身の個人情報に変更があった時、ご自身でデータを更新出来ます。
（2）山梨県だけでなく、各都道府県栄養士会が開催する研修会に手軽に申込みが出来ます。
☆さあ、山梨県栄養士会ホームページにアクセスしてみましょう！！



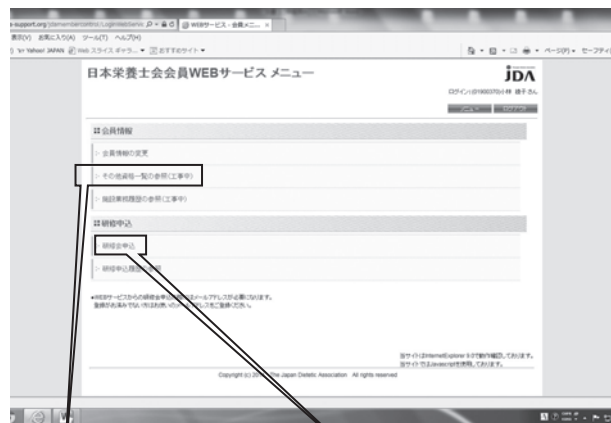
①トップページの「会員Webサービスはコチラ」をクリック！！



②「会員Webサービスはこちらからログイン」をクリック！！



③「会員番号」と「パスワード」を入力！！（※パスワードは「日本栄養士会雑誌」7月号に同封され送付されておりますが、紛失された方はパスワードを再発行いたしますので、山梨県栄養士会事務局までご連絡下さい。）



④「会員情報の変更」をクリックし、変更する情報を入力更新して下さい。

*「研修会申込」をクリックすると栄養士会で開催される研修会の申込が出来ます。

平成 27 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動

研 修 会

栄養業務研究発表会・新任者研修会 H27 .2.28 (土)



生涯教育研修会 5.30 (土) ~ H28.2.21 8日間 24講座



食生活と植物油栄養を考える講習会 8.8 (土)



インスタントラーメン研修会 9.12 (土)



平成 27 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動

特定保健指導
スキルアップ研修会 8.11 (火)



栄養管理研修会 11.28 (土)



県民への「健やか山梨 21」普及啓発のためのイベントへの参加
県民の日における栄養相談 11.14 (土) ~ 15 (日)



歯とお口の健康週間 6.6 ~ 7



健やか山梨21推進大会 12.5 (土)
いちのみや桃の里文化館



やまなし食の安全・食育推進大会 9.15 かいてらす



児童館での食育教室 9.25



健康づくり提唱の集い



健康づくり提唱の集い 10.17 (土) 笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館



平成 27 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動

会議・委員会 他
理事会 4.11 (土)



厚生労働大臣・知事表彰者



全国栄養士大会
9.27 (日) 福岡



日本栄養改善学会 9.24 ~ 26 福岡



平成 27 年度 定時総会・研修会・賛助会員展示会・会員交流会 5.23 (土)



日本栄養士会定時総会 大阪 6.21 ~ 22



関東ブロック会議 8.21 ~ 22 群馬県前橋市



厚生労働大臣・知事表彰受賞者



各種事業・研修会等実施のようす

歯の衛生週間に伴う栄養相談を実施

各支部での取り組み

・中北支部

と き 平成 27 年 6 月 7 日 (日)
ところ 山梨県立図書館 1 F イベントホール
内 容 ・料理カードを使ったコンピュータによる食事バランス診断・栄養指導
・麦・雑穀の栄養、脱水症状に関するクイズ
・食育クイズ

協力者 秋山 知子 (学校健康教育事業部)
山下ますみ (学校健康教育事業部)
辻 敏子 (研究教育事業部)
伊藤 貴子 (勤労者支援事業部)
玉川真奈美 (地域活動事業部)
芦沢 恵介 (地域活動事業部)
古屋百合子 (地域活動事業部)
黒崎 禎巳 (医療事業部)
齊藤 寛子 (医療事業部)
日向 誠 (医療事業部)
若狭 綾子 (福祉事業部)
武井さおり (福祉事業部)
赤澤 瑞季 (福祉事業部)
山梨学院短期大学学生
ボランティア 8 名

・峡北支部

と き 平成 27 年 6 月 7 日 (日)
ところ 韮崎市民センター ニコリ
イオンモール甲府昭和 計 2 カ所
内 容 ・栄養相談
・幼児の 1 日の食事見本 (フードモデル) 展示
・お菓子・飲み物に含まれる砂糖量の展示
・歯にいい試供品やおやつレシピ等の配布

協力者 堀内真理子 (公衆衛生事業部)
新海みちる (公衆衛生事業部)
小澤與志美 (地域活動事業部)
竹本 奈緒 (福祉事業部)
藤井 匡明 (福祉事業部)
藤巻 藤子 (福祉事業部)



・峡東支部

と き 平成 27 年 6 月 7 日 (日)
ところ いちやまマート塩山支店
イオン石和店 計 2 カ所
内 容 ・栄養相談
・三大栄養素別食品の塗り絵
・まめっこを使用した正しい箸の持ち方
協力者 福永千賀代 (地域活動事業部)
小池あゆみ (公衆衛生事業部)
宮川 善美 (公衆衛生事業部)
萩原 千晶 (福祉事業部)
細井 洋子 (医療事業部)
向井 紗希 (医療事業部)
興石 文賀 (福祉事業部)



・峡南支部

と き 平成 27 年 6 月 6 日 (土)
ところ 道の駅 富士川
内 容 ・ぬりえ (歯みがき啓発用)
・箸で豆をつまんでみよう (大豆を箸で移動してもらうゲーム)
・食材の仲間分けゲーム
・カルシウムの多い食材一覧表、レシピ等の配布・雑穀配布
協力者 青沼 真琴 (医療事業部)
荒川 京子 (医療事業部)
田中 典子 (福祉事業部)



・富士・東部支部

と き 平成 27 年 6 月 6 日 (土)
ところ Q - S T A
内 容 ・栄養相談
・飲料の砂糖含有量の展示

・C a強化ウエハースやふりかけのサンプル配布
協力者 長田 文江（地域活動事業部）
武藤 愛可（福祉事業部）

特定保健指導研修会を開催しました

と き 平成 27 年 7 月 5 日（日）
ところ ぴゅあ総合 小研修室 1
内 容 講義
講師 全国訪問健康指導協会
看護婦 杉本 葉摘

食生活と植物油栄養に関する講習会を開催しました

と き 平成 27 年 8 月 8 日（土）
ところ ぴゅあ総合 中研修室
参加者 ・管理栄養士、栄養士 64 名
・食生活改善推進員 17 名
・学院大学、短大生 6 名
内 容 講演 1「植物油の基礎知識」
講師 日本植物油協会
専務理事 齋藤 昭 先生
講演 2「メタボリックシンドロームの予防の視点から賢い油のとり方を考える」
講師 聖徳大学人間栄養学部
教授 池本真二 先生

協力者 田草川憲男（会長）
平井美樹夫（副会長）
山下ますみ（学校健康教育事業部）
佐藤 悦子（公衆衛生事業部）
三科 槇子（研究教育事業部）
大柴 由紀（勤労者支援事業部）
中村 益子（地域活動事業部）
荒川 京子（医療事業部）
熊谷 敬子（福祉事業部）
山本 聖子（事務局長）
小林 綾子（事務局員）



インスタントラーメン「健康と栄養」セミナーを開催しました

と き 平成 27 年 9 月 12 日（土）
ところ 山梨学院短期大学
参加者 ・管理栄養士、栄養士 59 名
・食生活改善推進員 25 名
・一般 8 名

内 容 ・学院大学、短大生 13 名
調理実習
「初秋の郷土料理を取り入れたメニュー」
講師 山梨学院短期大学
教授 依田 萬代 先生
山梨学院短期大学
助手 牧野 美咲 先生
講演「食を愉しむ」
ワインソムリエ
田崎真也 先生

協力者 田草川憲男（会長）
深澤 幸子（副会長）
平井美樹夫（副会長）
沢登 京子（常務理事）
山田 智子（学校健康教育事業部）
梶原 瑤子（公衆衛生事業部）
辻 敏子（研究教育事業部）
大柴 由紀（勤労者支援事業部）
玉川真奈美（地域活動事業部）
沼倉智華子（地域活動事業部）
渡部 鈴香（医療事業部）
田中 典子（福祉事業部）
山本 聖子（事務局長）
小林 綾子（事務局員）



いきいき山梨ねりんピックでの栄養相談の取り組み

と き 平成 27 年 9 月 26 日（土）
ところ 小瀬スポーツ公園
内 容 「健やか山梨 21 ★国保いきいき広場
ブーステント」における栄養相談業務
協力者 山本 聖子（事務局長）
小林 綾子（事務局員）

健康づくり提唱のつどいを開催しました

と き 平成 27 年 10 月 17 日（土）
ところ 笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館
参加者 ・管理栄養士、栄養士 81 名
・食生活改善推進員 82 名
・学院大学、短大生 7 名
内 容 講演 1「日本人の長寿を支える『健康な食事』」
講師 神奈川県立保健福祉大学
学長 中村 丁次 先生
講演 2「高齢者の健康管理におけるプロバイオティクスの有用

性～便秘や感染症予防と腸内細菌～」
講師 （株）ヤクルト本社広報室
参事・薬学博士
早川 和仁先生

協力者 田草川憲男（会長）
深澤 幸子（副会長）
平井美樹夫（副会長）
沢登 京子（常務理事）
秋山 知子（学校健康教育事業部）
黒瀬 由合（学校健康教育事業部）
進士 瑞穂（公衆衛生事業部）
池田 詩織（公衆衛生事業部）
窪島 愛華（研究教育事業部）
天野江津子（勤労者支援事業部）
沼倉智華子（地域活動事業部）
小林 貴子（医療事業部）
鰻池 春菜（医療事業部）
土橋きく江（福祉事業部）
山本 聖子（事務局長）
小林 綾子（事務局員）



県民の日記念行事での栄養相談の取り組み

と き 平成 27 年 11 月 14 日（土）
15 日（日）
ところ 小瀬スポーツ公園
内 容 1. 塩分 0.8%味噌汁の試飲及び「食塩摂取に関するアンケート」の実施による減塩指導
2. 料理カードによる食事診断と、食事バランスガイドに基づく食生活相談

協力者 < 14 日 >
田草川憲男（会長）
深澤 幸子（副会長）
平井美樹夫（副会長）
沢登 京子（常務理事）
羽中田 睦（学校健康教育事業部）
小林 茜（公衆衛生事業部）
櫻林ひかる（研究教育事業部）
古屋百合子（地域活動事業部）
猿渡 春香（医療事業部）
廣瀬 優美（医療事業部）
藤井 匡明（福祉事業部）
高山 有（福祉事業部）
山梨学院大学健康栄養学部

県栄養管理研修会を実施いたしました

と き 平成 27 年 11 月 29 日（日）
ところ 山梨学院大学
内 容 （1）情報提供
「山梨県における C K D 予防推進対策事業について」
山梨県福祉保健部健康増進課 健康企画担当 知見 補佐
（2）事例発表
「食事摂取基準（2015 年版）の実践、運用について」
①笛吹市国民健康保険課 管理栄養士 山田祐英子 氏
②山梨県児童福祉施設栄養士会 会長 沢村和子 氏
③山梨学院大学健康栄養学部准教授 古閑美奈子 氏
山梨県福祉保健部健康増進課 管理栄養士 藤原瑞穂 氏
（3）講演
「日本人の食事摂取基準（2015 年版）の実践的活用方をさぐる～栄養疫学の基礎知識を活かして～」



講師 東京大学大学院
教授 佐々木敏 先生



健やか山梨 21 推進大会に参加しました

- と き 平成 27 年 12 月 5 日 (土)
ところ いちのみや桃の里ふれあい文化館
内 容 1) 健康づくり活動状況紹介
(1) 健やか山梨 21 推進会議構成団体
(2) 甲斐市食生活改善推進員の皆さん
『『ごはん・おかず・やさい・やさい』 甲斐市食生活改善推進員が目指す食育とは』
2) 表彰
(1) 知事表彰
(2) 知事及び健やか山梨 21 推進会議会長表彰
(3) 厚生労働大臣表彰
受賞者の紹介
3) 講演
「あなたの腎臓大丈夫？
～新たな国民病“慢性腎臓病 (CKD) “について～」
講師 山梨大学医学部 内科
学講座第 3 教室 教授
北村健一郎 先生
4) 慢性腎臓病・減塩に関する展示
(交流展示ホール)
出展者：(株) mizkan カゴメ
(株) 各製薬会社
栄養士会 山梨学院
大学健康栄養学部
韮崎高校家庭クラブ
健康増進課



出前栄養相談事業

児童館での取り組み
訪問した児童館 21 カ所
協力会員 地域活動事業部員 各 2 名ずつ
内 容 エプロンシアター、野菜のイラスト
等を使用したゲームによる食育
小規模事業所への訪問栄養指導
訪問した事業所 10 カ所
協力会員 栄養士会会員 各 2 名ずつ
内 容 事業所職員に対する栄養相談



旭日双光章受章おめでとうございます

旭日双光章を受章して

石坂 恵子



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、私こと平成 27 年秋の叙勲に際しまして、はからずも旭日双光章を拝受致しました。

これもひとえに歴代の役員の方々、会員の皆様的一方ならぬご指導ご協力、ご叱正のお陰と身の引き締まる思いで一杯です。

この叙勲は、山梨県栄養士会を今日の姿に育てて下さった多くの先輩の方々の真摯な努力の結果であり、それを代々引き継いで営々と今日まで努力されてきた歴代役員の方々、会員の皆様のご努力が実ったものと思っています。従って、私個人が受章したものではなく、栄養士業務と栄養士会活動が社会的に認知された結果として、その会長を務めた私が栄養士会と会員栄養士の皆様の代表として受章したものであると思っています。

11 月 5 日、伝達式が県庁に於いて行われ、後藤知事から勲記・勲章の授与がされました。翌日 6 日、皇居参内で豊明殿に於いて天皇陛下に拝謁をいたしました。非常に身に余る光栄と改めて感激致しました。

参考) 旭日章・・・国家または公共に対し、勲績あった方に授与されます。

瑞宝章・・・国家または公共に対し、積年の功労あった方に授与されます。

褒 章・・・社会や公共の福祉、文化などに貢献した方に授与されます。

私がこの道に入ったのは、幼い頃から働く母親の姿を見て育ちましたので、これからの女性は何らかの資格を持ち、それを活かして職に就く事が大切ではと考えていました。

栄養士という資格で昭和 36 年、山梨県職員に採用され、平成 12 年 3 月定年退職をしましたその間、保健所・病院・学校・福祉施設と様々の職場を経験しました。どんな職場に異動しても専門職の栄養士業務は非常にやりがいのある仕事で、それなりに精一杯やってきたか？と思っています。

退職後は山梨県栄養士会会長として多岐にわたる分野の栄養士会員を統括し、会員の資質向上と会員増を目指したと思います。又、公益法人としての会の活動を通して、県民の健康づくりの一助を荷い、栄養士会事業に精力的に取り組んでまいりました。“人に尽くし、感謝される”心のどこかにそんな気持ちを持ちを常に持っていたと思います。

「食べる事は生きることであり、生きることは食べ続けることである。」との基本はいつの時代でも変わることはないと思います。「健康に生きる」為の手助けが出来る栄養士の立場を皆様と共にこれからも地道に進んでいきたいと思っています。

終わりに、皆様方の今後のご活躍とご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。



厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰を受賞して

社会福祉法人 山梨檜の会 介護老人保健施設 甲府相川ケアセンター
管理栄養士 堀口 一美

9月26日、福岡国際会議場で開催されました、全国栄養改善大会において栄えある厚生労働大臣表彰をいただき、12月5日健やか山梨推進大会にてご披露させていただきました。身に余る光栄と存じます。このたびの受賞に際し山梨県栄養士会の諸先輩方、会員の皆様、またご推薦いただきました行政関係のご担当者のおかげと心より感謝申し上げます。

「食」という字は、人の下に良と書きます。わたくしは、「食は人を良くする」を信条に仕事をしてまいりました。管理栄養士として、大学寮で学生の食事管理をスタートに、保育園で乳幼児の栄養、アレルギー児への対応、そして高齢者の栄養管理、介護職員への食の指導と幅広い仕事に関わらせて頂きました。学びと人との出会い、また、うれしいこと大変なこと、仕事にたずさわってきたからこそ味わえる「味」を知ることができ感謝しております。現在は、高齢者施設で、栄養ケアマネジメント業務を行っています。個々人に最適な栄養ケアを行うための技術が必要とされ日々勉強です。また、多職種協働がキーワードで人とのコミュニケーション能力も不可欠です。最近まで「栄養士は1人職場だから・・・」と考えておりましたが、S先生から「その場所に誰もいないのが1人職場です。」と言われ目からうろこでした。栄養士は1人職場ではないと気づかせて頂きました。多くの他職種の方と力を合わせて高齢者の支援をしていきたいと思います。

これからも自己研鑽に努めるとともに、山梨県栄養士会、日本栄養士会のために微力ながら尽力したいと思っております。ご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



山梨県知事表彰受賞おめでとうございます

知事表彰を受賞して

山梨県立北病院 平井 美樹夫

この度は健やか山梨 21 推進大会の席上において栄養改善功労者として知事表彰をいただき、ありがとうございます。これも今まで支えていただいた栄養士の諸先輩、職場の仲間、出会った様々な皆様の教えと栄養士会や行政のおかげとこの紙面を借りまして御礼を申し上げます。

感謝をこめて会員の皆様に少しでも役立てばと、私の作成した肥満対策の替え歌を紹介させていただきます。これは参加者に歌ってもらい、歌詞の意味を説明することで教材にもなるものです。

世界に一つだけの腹（世界に一つだけの花）
フィットネスクラブに並んだ いろんな腹をみていた
ひとそれぞれ違いはあるけど どれもみんな 立派だね
この中でメタボが一番だなんて 争う事もしないで
ルームの中誇らしげに エアロビクスしている
それなのに僕ら太っちょは どうしてこうも なまけたがる
一人一人違うのにその中で 1 番に食べたがる
そうさ 僕らの 世界に一つだけの腹 一人一人違う訳を持つ
その腹をへこますことだけに 一生懸命になればいい

困ったように笑いながら ずっと耐えてる人がいる
頑張ってやせた腹はどれも きれいだから仕方ないね
やっとお腹がへこんで その人が抱えていた
血糖も脂肪も下がって うれしそうな横顔
いつかは覚えてないけど あの日僕にショックをくれた
宴会のダンスで揺れていた 自分の腹のように
そうさ 僕らの 世界に一つだけの腹 一人一人違う訳を持つ
その腹をへこますことだけに 一生懸命になればいい

洋梨型やりんご型 一つとして同じものはないから
モデル体型にならなくてもいい もとの体重の マイナス five

知事表彰を受賞して

公衆衛生事業部 早川 文子

この度は、栄養改善功労者として、栄養ある知事表彰を頂いたことに大変感謝しております。
栄養士として、県庁職員の 36 年（病院、福祉施設、行政）と、現在勤務しております山梨県食品衛生協会における食品衛生コンサルタントとしての勤務 3 年の計 39 年目を迎えようとしていますが、これも、山梨県栄養士会、諸先輩、すばらしい仲間の支えをいただき、栄養士として仕事を一心に勤めることができたからだと思います。改めて皆様に心より感謝し、お礼を申し上げます。

39 年の時間を振り返った時、食は一日の中で一番楽しい時、でも、過食や美食は健康被害の源になってしまうこともあります。生活習慣病は恐ろしいものです。特に山梨県における塩分摂取が高かったことから、行政の仲間や食生活改善推進員との連携による味噌汁減塩マップの取り組みは、全国の減塩マップの取り組みへと繋がり、微力ながら生活習慣病予防の取り組みとしての一歩になったのではないかと感じているところです。

食環境の変わる中での健康づくり食生活改善指導は、地道ではありますが終わりのない取り組みの必要性を感じているところです。

また、今、栄養士で良かった・・・と感じていることは、自分自身の一日の食事内容の充足が常に自己分析されていることです。

今後も、このような取り組みをする仲間を増やし健康長寿日本一を目指していきたいと考えています。

県知事表彰を受賞して

上野原市立病院 鶴切 聖子

この度、栄養改善功労者として知事表彰をいただき、身に余る光栄で、有難うございました。ご推薦を頂いた富士東部保健所の方々をはじめ、栄養士会の方々、職場の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

最初は、老人ホームの栄養士として10年位施設の皆様に支えて頂き、結婚退職まで勤める事が出来ました。退職前に大月管内の先輩栄養士さんが管理栄養士試験の勉強会を立ち上げて頂き、栄養士会の研修会と共に勉強しました。その経験が動機になり退職後、管理栄養士の資格を取得する事が出来ました。子育てが一段落した頃に、役場に管理栄養士臨時職員として採用され、不慣れな中、役場の皆さんに支えられ又、地域の先輩栄養士さんに一緒に臨床栄養学の研修会に誘って頂きました。病院の栄養士に採用された時には、前向きに仕事に取り組む事が出来、感謝しています。

病院職員に採用されてからも、栄養士会の研修会やその他の臨床学栄養講座、病態学会など職場の皆様の理解と支えにより参加し、勉強させて頂いております。

病院栄養士の仕事も、時と共に給食業務で、手計算から栄養ソフトで作成する様になり、栄養管理は個人対応になり、給食業務は委託になりました。委託の調理師さん達と協力して、薄味でも美味しい病院食になるよう努力しています。

管理栄養士としては、まだまだ力不足で自分でも歯がゆく思っている毎日ですが、この賞を励みに、より一層努力してまいります。

栄養関係功労者知事表彰を受賞して

研究教育部会

山梨学院短期大学 樋口 千鶴

この度は栄養関係功労者の栄誉を賜り、身に余る光栄です。ご推薦を頂いた山梨県栄養士会及び関係各位の皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。

栄養士養成教育に携わって早30年以上が経ちましたが諸先輩、同僚、後輩の先生方や学生のおかげで続けてこれたと思っています。

最初は教えるということに不安がありましたが、職場の環境が良いことから栄養士会主催の研修会への参加や学会発表などの機会に恵まれ、栄養士とはどういう職業なのか学生と一緒に学びながら成長できたのではないかと考えています。今後も県との連携事業や食育教室などを行うことにより、栄養士の仕事を多少なりとも社会に発信していきたいと思っています。

刻々と変わる医療や公衆衛生などに関連した栄養士を育てていく仕事に携わっているため最新の知識が必要不可欠であることから日々学びと考えています。また、管理栄養士の資格は持っていても実際の業務についているわけではないので栄養士会での研修会や生涯学習の際に現場の意見を聴くことができることは生の教材として大変勉強になっています。

これからも名に恥じない栄養士を育てる手助けをしていくと共に微力ながら栄養士会に貢献できるよう精進していきたいと存じますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

栄養士制度・栄養士会誕生70年記念事業表彰受賞おめでとうございます

受 賞 者

と き 平成27年9月27日（日）

ところ 福岡国際会議場

田草川憲男 研究教育事業部 山梨学院短期大学

大木 由枝 勤労者支援事業部 ホテルデュシェルブルー



管理栄養士1年目・社会人1年目

公衆衛生事業部

都留市 健康子育て課 健康づくり担当 蒲地華奈依

山梨学院大学健康栄養学部で2期生として平成26年度に卒業して現在、社会人1年目で行政栄養士として働いています。学生のときには管理栄養士になるために必死に勉強をしていましたが、学生の勉強量では足りず、働いてからも知らないことがたくさんあり、学生のときに聞いていた「日々勉強だよ」という言葉が身に染みています。

今は、甲斐市から都留市へ電車で通勤をしており、片道1時間半は電車に乗っています。通勤時間を利用して勉強をしたり、読書をしたり、時には寝たり…。遠いと感じることもありますが、充実した時間を過ごせています。

社会人になって行政栄養士や栄養士会の研修等で集まる機会がよくあり、栄養士の仲間が増えたこと、また、情報交換、仕事の相談ができることをとてもありがたく思っております。まだまだ管理栄養士として未熟なところばかりですが、「日々勉強」という言葉を忘れず、自分自身の向上、スキルアップを図るとともに、行政栄養士として多くの住民の健康に携わっていきたいと思います。

初心に戻る

研究教育事業部

山梨学院大学 健康栄養学部 管理栄養学科 小高 美樹

私が管理栄養士という職種に出会ったのは、高校2年生の冬でした。当時、私は陸上競技部に所属し、その陸上競技の大会でスポーツ飲料と一緒に配られた小さな冊子の管理栄養士のメッセージを読んだのが、出会いのきっかけです。それまで、小中学校の給食施設で働く栄養士しか知らなかった私にとって、管理栄養士という様々な場所で活躍している食のスペシャリストの存在はとても衝撃的なものでした。食で人の心も身体も健康にすることができる、こんな素晴らしい管理栄養士に私もなりたと思いました。

それから5年が経ち、私は実際に管理栄養士となり、現在管理栄養士として働いています。まだ新米の管理栄養士ではありますが、自分の持っている知識を最大限に活用させて毎日仕事に励んでいます。管理栄養士になるという夢を叶えた今、将来どんな管理栄養士になりたいのかという具体的な目標を考えることが多いです。色々考える中で、やはり初心に戻り、食で人の心も身体も健康にすることができる管理栄養士になりたいと感じました。そのためには、さらに管理栄養士としての経験を積み、様々な職種・年代の方からの意見や考えを聞くことが大切だと思います。これから、より一層自分の目指す管理栄養士に近づけるよう努力をしていきたいと思います。

新年を迎えて

地域活動事業部

早川 敏子

新年明けましておめでとうございます。今年は年女・・・自分の歳を意識しました。私は28年間、銀行の給食を担当し、食を通して行員の健康づくりに従事してきました。その後は、山梨県栄養士会で作成した「山梨県版食事バランスガイド」に微力ながら協力しました。

また、児童館で行っている食育指導にも協力しております。

これからも研修会等には参加して、新しい知識の習得に努めたいと思います。

今年の抱負	
勤労者支援事業部	入井 美咲
私は昨年(2015年)の4月から社会人になりました。仕事は事務をしています。全てが慣れないことばかりですが、学ぶことも多くて毎日がとても充実しています。おかげさまで、学生から社会人へ環境が変わり始めた2015年はとても濃い1年であり、あっという間な1年でした。 そして今年の抱負についてですが、2つの目標を立てようと思います。1つ目は仕事をより充実させることです。今はほとんどが事務の仕事をしていますが、せっかく管理栄養士という資格を持っているので、それを活かせるような仕事をさせてもらえるようになりたいと思っています。そのためには今まで学んできた知識が消えないよう、栄養士会で行われている研修会などに積極的に参加していこうと思います。2つ目は休日を充実させることです。今年は、今まで行ったことがない日本の観光地に行ってみたいと思っています。特に九州へは1度も行ったことがないので、ぜひ行ってみたいです。そしてその地の文化に触れ、気持ちもリフレッシュできればと思います。 このように2016年は仕事も休日も充実させ、自分が満足のいく日々を過ごしていきたいです。	
山梨がんフォーラムに参加して	
医療事業部	山梨リハビリテーション病院 細井 洋子
平成27年9月21日、山梨県立図書館において「がん治療の生活～お金ときれいと食事～」をテーマに第9回山梨がんフォーラムが開催され、山梨県栄養士会も医療事業部を中心に、栄養相談のブースを担当しました。 私は普段の業務で、入院患者様への栄養相談を行っています。カルテに書かれている情報を基に、どんな患者様が把握して対応しますが、今回は会ったばかりの情報の少ない方への対応、少し戸惑うこともありましたが、しかし、一般の方々が食事についてどう考えているか知ることができ、とても良い経験になりました。また、他病院の栄養士と多くの情報交換ができ、有意義な時間が過ごせました。その他、食品・口腔ケア・寝具・相談等々の出展があり他ブースでも多くの情報を得られ、中でも訪問マッサージのブースでは、直接マッサージまで受け至福の時間でした。多方面からの話を聞き、がん治療は患者本人が主人公でなくてはならないと強く感じました。 私の勤務する病院では、がん患者様との関わりは少ないのですが、がんフォーラムで感じたことを今後の業務にも繋げていきたいと思っています。今回は、参加させていただきありがとうございました。	
私の思い	
福祉事業部	池田保育園 長田 結香
私は毎日アレルギー除去食、離乳食を扱った給食づくりに取り組んでいます。私が栄養士として保育園の給食づくりに携わるまで、私を含め周囲にはアレルギーを持つ方は、居なかったように思います。しかし、最近では大なり小なりアレルギーを持つ子どもが多くおり、その内容も複雑になっています。そこで、常に細心の注意と責任感を持って日々の調理作業にあたっています。 当園では、昼食やおやつ献立に和食を多く取り入れています。最近の子どもたちは洋食に慣れ、和食を家庭で食べる機会が減っているからです。「子どもたちが煮物を食べている姿を見て驚いた。」とおっしゃる保護者の方もいます。和食はアレルギー要素が洋食よりも少なく、よく噛むことで咀嚼力が鍛えられ、幼児にとっては大切な食習慣を身に付けることができます。 舌も発達段階にある子どもたちにこそ、本物の味を感じてほしいと努力を重ねる中で、「おいしいね。」「これ食べられるようになったよ。」という言葉が聞けるようになりました。私はお腹が満たされることで、心も満たされると考えています。アレルギーと戦う子どもたちにも、給食で愛情を感じてほしい。子どもたちが綺麗に食べ終わった食器を見ることを毎日の活力とし、心のこもった温かい給食を子どもたちに届けたいです。	

職域事業部のコーナー	
学校健康教育事業部	
学校健康教育事業部として ～未来を担う子どもたちのために～ 上野原市立上野原小学校 栄養教諭 大神田志保 学校健康教育事業部は部員が20人程度の小さな部会です。小さな部会だからこそ、部員同士の顔や勤務先が分かり、様々な相談をしたり献立や教材のアイデアを教えあったりと横のつながりが強い部会です。毎年2回程度の学習会を開催し、教材教具作りをしたり、お互いの情報交換をしたりしています。 学校給食の現場では、給食管理や衛生管理はもちろん、食物アレルギーの対応や大型給食センターの建設、調理委託業者の参入など様々な課題が山積しています。しかし、子どもたちにとって安全でおいしく、よりよい給食の提供ができるよう、日々努力を重ねています。平成17年に食育基本法が成立、施行し、さらに食に関する指導の推進に中核的な役割を担う「栄養教諭」制度が創設されました。平成19年度には山梨県にも栄養教諭が誕生しました。以来、様々なところで「食育」という言葉を耳にし、食育に対して多くの人が関心を高めています。学校現場においては、食教育は教科ではないために授業時間の確保が難しいばかりか、いまだに食教育の重要性が十分に認識されていないのが現状です。全教職員が食教育の必要性・重要性を理解し、食育を推進していく必要があります。また、栄養教諭の採用人数が少なく、仲間が増えない事が悩みです。栄養教諭は、子どもが生涯にわたって健康に生活していけるよう、栄養や食事のとり方などについて正しい知識に基づいて自ら判断し、食をコントロールしていく「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を子どもたちに身につけさせるための技術や指導力が必要です。そのために、日々の教育活動の中で様々な立場の教職員と共に栄養教諭が食育のコーディネーターとして連絡調整をし、研究会や授業実践をしたり教材研究をしたりしています。 私たちは、様々な家庭環境、食環境の中にいる子どもたちに「生きる力」を身につけるため、その柱である「知育」「体育」「徳育」のさらに礎となる「食育」を推進していく役割があるのです。	
公衆衛生事業部	
「公衆衛生事業部の活動状況」 公衆衛生事業部長 中北保健福祉事務所 廣瀬 真美 公衆衛生事業部は、県、保健所、市町村保健センターなどで地域住民の健康を支援するため、栄養指導や保健事業を行っている管理栄養士・栄養士の部会員で構成されています。 県・保健所においては、県民栄養調査を行い、都道府県や地域の健康状態を把握して問題点を解決するための事業の組み立てから実施まで、また病院、社会福祉施設、保育所、事業所など給食施設への巡回を行い、栄養管理や災害時の対応等の指導支援、加えて食育や健康に関する機関や団体のネットワーク作りを行っています。 市町村においては、各市町村の現状を把握し、健康増進計画や食育推進計画に基づいた健康づくりの推進、妊婦の食に関する相談、乳幼児健診での離乳食などの相談や教室の開催、住民健診時の栄養相談、生活習慣病予防の栄養相談や教室の開催、食生活改善推進員(食育を推進するボランティア)の養成等を行っています。 今年度の活動については、平成25年度に改正	

研究教育事業部

日本栄養改善学会に参加して

研究教育事業部 依田 萬代
平成 27 年 9 月 24 日から 26 日福岡国際会議場・福岡サンパレスホテルにて第 62 回日本栄養改善学会が開催された。メインテーマは実践栄養の連携と展開～食べることは生きること、繋がること～と題して、最初に特別リレー講演「健康な食事の連携と展開～健康な食事を普及させるための実践栄養と諸科学の連携～」4 氏の演者により「健康的な食事」を展開するに当たり、科学的根拠をどう集積し特定食品成分や機能食品の社会的関心が高まる中で「健康な食事」や国民や社会への発信をどのように強めていくか生産・流通は何を目視し健康を視野に入れた「健康な食事」に取り組むか、等々問題解決を探りまた、解明し筋道を明らかにしていくこと。栄養政策における「健康な食事」の意義は大きく深い他が要旨であった。シンポジウムでは指標の目的と限界、目標とする BMI の策定と限界等と今後の課題、解決策、持

続可能な方法論他、敬服させられた。

一般講演の口頭発表 305 件、示説発表 334 件と実に盛大に開催された。山梨からはご存知のように平井氏他「味噌汁の試飲とアンケートから探る減塩対策」、関戸氏他「栄養士養成課程給食運営実習における献立の構成要素及び使用食材の分析」、依田他「産官学連携淡水魚と特産品の美味しい料理開発に関する研究」の 3 つの発表があり積極的かつ熱心な討議があった。

言うまでもなく学会発表は調査・研究の目的や結果を同じ目的で調査している方々の前で公表することで、より客観的な評価を受け、更に探究し深めるためにも極めて重要である。同じ研究をしている仲間に出会える、ご当地の美味しい郷土料理を堪能でき観光地を巡るのも楽しみである。

平成 28 年の第 63 回日本栄養改善学会は 9 月 7 日から 9 日まで、リンクステーションホール青森で開催される。今年度の大会にも増して、より多くの会員の皆様にご参加頂けますよう希望します。

勤労者支援事業部

勤労者支援事業部

勤労者支援事業部部長 大柴 由紀
部員数の低迷でなかなか栄養士会の事業にもご協力できない勤労者支援事業部ですが、運営委員会を中心にして何とか事業部部員の連携だけでもとりたいと模索しています。

県内に少ない人数で散らばっている上、日々の業務に追われて集まる機会もままならない状況ですが、メールなどを通して部員同士の情報共有を図るのが目下の課題です。

山梨県は（公社）日本栄養士会の中では関東甲信越ブロックに所属しており、茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・長野県と同じブロックですが、どこも同じ課題を抱えているようです。

しかし、日本栄養士会では、私たち勤労者支援事業部では今後どのような役割を担うことができ

るのか、活発な議論がなされています。全国で中心となっている企画運営委員の皆さんが研修会を開催してくださったり、ホームページ上での情報公開をしようと積極的に活動されています。

山梨県でもたくさんの諸先輩方が部会の頃より会を支えていらっしゃいました。私たちも少数精鋭ではありながら、今後も田草川会長、栄養士会事務局のご指導をいただきながら勤労者支援事業部としての活動を続けて行きたいと思います。

今年の研修会は、中北支部の皆様と合同研修とさせていただきます。他の事業部のお力添えもいただきながら、研鑽を積んで参りたいと思います。

本当に微力ではありますが、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を頂戴したく、どうぞよろしくお願いいたします。



地域活動事業部

“食育、広げよう！！” 乳幼児から高齢者・ スポーツ、介護、在宅栄養指導へ

地域活動事業部長 沢登 京子
地域活動事業部の役員に 20 年ぶりに返り咲き、改めて一般住民へ栄養情報提供、調理を通しての食育活動、健康関係に携わる多職種の方達との情報交換、そして連携による仕事が必要・重要である事を痛感しているところです。

私達地域で仕事をしている仲間は、通常“在宅栄養士”と呼ばれ、地域の行政関係の健康事業を依頼によりおこなっているのが主です。最近では、開業栄養士として仕事をしている者も増えています。

「平成 27 年度地域活動事業部関東甲信越ブロック研修会」を、山梨が担当で 9 月に宿泊研修を実施しました。発表に、まだ山梨ではあまり需要のない”スポーツ選手（強化指定選手）への栄養指導”等にも積極的に取り組んでいる県もありました。全体的には食育活動でした。全国的に【スポーツ食育】の依頼が増えています。食品開発の

医 療 事 業 部

医療事業部 27 年度スローガン 病院から在宅までシームレスな 栄養管理・栄養指導を目指そう

医療事業部長 小林 貴子
本年度の医療事業部は、年度初め 5 月 15 日に「診療報酬 自己負担金増額」についての研修会を行い 42 名の方に参加していただきました。この研修を通し、「入院時食事療養費・特食加算・食堂加算等の算定に関する基準の確認事項」「自己負担金増額の考え方」について学びました。病院に勤める管理栄養士・栄養士としての基礎的な知識を学ぶことで、より自信を持って病院栄養士としての業務を遂行することができます。

9 月 21 日には、昨年に引き続き山梨県栄養士会への依頼として、がんフォーラム山梨主催の第 9 回がんフォーラム・かいぶらり健康フォーラム「がん療養中の生活 - お金ときれいと食事」への協力事業を行いました。主な実施内容は、「免疫大丈夫か、食事診断」です。料理カードが目を引き参加者に栄養について興味をもっていただきました。この事業には田草川会長・深澤副会長・平井副会長・山梨学院短期大学の学生さん 4 名の

分野、企業の健康料理教室企画等の依頼、又「管理栄養士が運営するカフェ」と食情報の発信の場も広がり、取り組んでいる仲間も増えてきています。開催県でしたので会員には新情報を得る良い機会でした。山梨でも給食業者からのメニューの開発・献立作成依頼、訪問栄養指導と仕事も増えつつあります。

今年度も“岡島での食育教室や生活習慣病予防教室”栄養士会の“栄養ケアステーション”の仕事を担当させていただいています。新情報のもと、統一した支援・指導ができるよう研修を重ね、仲間でレベルアップして行かなければと思います。

“栄養士として羽ばたこうとする人”“子育てが済み再度職につこうとする人”“管理栄養士の資格取得を目的の人”大ベテランから新人までと、幅広い仲間ですが、栄養士としての気持ちは皆同じ、「仕事のできる栄養士、使ってもらえる、愛される栄養士」に地域でなれるように頑張りたいと思います。28 年度は「スポーツ関係・介護・在宅栄養指導へ」健康寿命延伸に向けて“食育の場をひろげま～す!!”

以上

ご協力をいただきました。12 月 23 日のチャリティーコンサートにもブースを出展し協力していきます。

平成 28 年 1 月には、「非肥満者の高血圧対応症例報告」「減塩について（仮）」について研修会を予定しています。この機会に最新の減塩食について学びましょう。

日頃の病院栄養士業務についての相談も、医療事業部研修会時に経験豊かな先輩管理栄養士がお聞します。お気軽に参加してください。皆で解決していきましょう。

また、医療事業部では、年間を通して会員の知識向上を図り病院から在宅までシームレス（切れ目のない）な栄養管理・栄養指導を目指し、各地域事業部の皆様とも連携していきたいと考えています。



“寄り添った栄養ケアを目指して！”

福祉（高齢・障害）事業部

守屋喜久代（介護老人福祉施設 コスモ）

4月より、介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定がありました。施設全体では減算ですが、栄養ケアは大きく評価されています。介護保険では栄養ケアの中で、摂食・嚥下困難者でも“口から食べる楽しみの支援”が実践に即した内容となりました。利用者さんのQOLの維持向上を目指し、適切な栄養管理を基本に多職種協働による栄養ケアマネジメントが必要とされています。

今年度も、会員の皆様からの要望の多かった内容について研修を実施し、非会員にも参加勧奨を行っています。

4月17日に神奈川県立保健福祉大学教授 杉山みち子先生を講師に「栄養ケアマネジメント再生のための戦略」、神奈川県リハパーク舞岡栄養課長 苅部康子先生に「経口維持や老健における在宅復帰高齢者支援の取り組み」について研修しました。栄養ケアマネジメントについて再認識し、

新制度の内容と取り組み方を学びました。

10月6日、東京医科歯科大学大学院准教授 戸原玄先生を講師に「摂食嚥下障害の評価と訓練の実施」について研修を行い、実践に添った内容で、具体的な評価方法や支援の方法を学びました。また、実践例として「コスモでの経口維持への取り組み」を報告しました。

11月7日生涯教育研修では、福祉事業部が担当し、三和化学研究所 野々山麻子先生を講師に「高齢者と低栄養」、沖縄県あがりほまクリニック院長 吉田貞夫先生を講師に「認知症の人の摂食嚥下障害 最短トラブルシューティング」について研修しました。高齢者のサルコペニアや認知症には、適切な食事支援が必要であることを再認識しました。

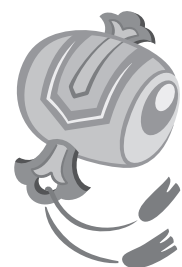
また、日本栄養士会専門研修ではスキルアップを目指した研修を幅広く行ない、多くの会員が参加しています。

栄養ケアは多岐にわたりますが、会員と共にスキルを身に付け、利用者さまに寄り添い、期待に応えられるよう頑張っています！

また日頃の業務において、わからないこと、悩んでいることなど誰かと話したり情報を得ることによって解決できるよう、会員同士の親睦を深めながら学習会を開催したりしています。

11月には「子どもの発達に合わせた食事の提供と保護者へのアドバイス」と題し東洋大学非常勤講師 太田百合子先生の講演も予定されています。

これからもより良い食事提供のための情報や支援のしかた、食育実践のための情報などを積極的に学ぶとともに、栄養士として取り残されていないよう自身のスキルアップを目指していきたいと思います。



今年度の活動状況

福祉事業部（児童）

市川三郷町立三珠保育所 土橋さく江

今年度は「いまごろ・・・」と思われてしまうかもしれませんが、日本人の食事摂取基準2015年版の内容をきちんと理解することを目的に活動しています。

県の協力を得て、特定給食施設等栄養管理報告書の資料を過去3年分提供していただき山梨県内の保育所で実際に摂取されている栄養量を知ることができました。

その数値を考慮しつつ、保育所における給与栄養目標量の検討を行っています。

訪問栄養指導の現場から

～事例報告～

山梨市立牧丘病院 管理栄養士 小佐野 真実 会員

幸せをもたらす訪問栄養食事指導

～病院管理栄養士だから訪問する！医療と介護の橋渡し～

平成27年4月25・26日
第17回 日本在宅医学会もりおか大会 ポスター発表
山梨市立牧丘病院 管理栄養士
小佐野真実

はじめに

山梨市立牧丘病院（以下：当院）は、山梨県の東部に位置する人口3万7千人の山梨市の中山間部に位置している。

病床数：30床
（一般病棟）
診療科：内科、消化器内科
小児科、整形外科



◆入院患者 平均年齢84.9歳
（平成27年3月1日現在）

◆入院から在宅において
歯科との連携に力を入れている

◆在宅医療に力を入れている
（院内スタッフによる訪問）
訪問診療：常勤医師 4名
訪問看護：看護師 3名
訪問薬剤管理指導：薬剤師 2名
訪問リハビリ：理学療法士 2名
訪問栄養食事指導：管理栄養士 1名



訪問診療



訪問薬剤管理指導



訪問看護



訪問栄養食事指導

訪問リハビリ

実践内容

自宅と介護施設を行き来している摂食嚥下障害のある患者に対して病院管理栄養士がどのように患者・家族とかわり、多職種や介護施設にアプローチし連携したのか当院の訪問栄養食事指導の取り組みについて検証する。

訪問栄養食事指導は現在6年目を迎え、摂食嚥下障害や担がん患者などに多く関わってきた。当院では食べることに関わる職種は『幸せをもたらす職種』と言われている。患者にとって『食べること』は何よりも幸せを感じられるものであり、管理栄養士は食べる幸せをサポートできる職種の一人である。

症 例

年齢：87歳 性別：女性 介護度：要介護5
疾患名：変形性膝関節症、正常圧水頭症、
摂食嚥下障害

主介護者：長男の嫁
家族状況：ご主人、長男、嫁、孫3人

利用しているサービス

訪問診療（医師）：1回/月
訪問栄養食事指導（管理栄養士）：1/月

訪問歯科診療：1回/3ヶ月（近隣歯科主治医）
口腔ケア：1回/月
（近隣歯科のフリーランス歯科衛生士）
ショートステイ・デイサービス
福祉用具レンタル

経 過

変形性膝関節症で他院へ通院。
平成xx年11月、通院困難となり、他院から当院に紹介。訪問診療開始。正常圧水頭症、発見。
本人、家族とも手術は希望せず自宅で経過観察。
翌年10月、めまいがひどくなり当院に入院。
手術のできる病院へ転院。
手術を繰り返していくなかで、傾眠傾向が強くなり経口摂取困難となり、胃瘻増設。
4月、自宅へ退院。訪問診療再開。訪問歯科診療を導入し、口腔ケアを開始。（RSST_前0 指示はいらず）

※1-RSST：反復嚥液嚥下テスト

自宅に帰りしばらくすると、よくしゃべるようになったため、医師より『ゼリーなどたべられるのでは』ということで訪問栄養食事指導の依頼が来た。

絶食期間も長く、唾液でもムセがみられたため、ゼリー摂取から目指すことになった。（RSST 1）

自宅でVEを行いながら
歯科衛生士と共に、
嚥下訓練・評価を行う。
ゼリーが安全に食べられるようになり、家族の方にも介助方法を指導しゼリーを食べてもらう。



【訪問栄養食事指導開始から2か月後】
デイサービスやショートステイ先でも継続して経口摂取が行えるよう、各介護施設へ訪問。食事内容・姿勢・介助方法などを施設スタッフと確認していく。施設で召し上げるゼリーは持参。



徐々に嚥下機能が回復し、ゼリー以外のものも訓練していく（RSST₂）

約半年に1回、胃瘻のボタン交換で当院に入院する際はSTによる嚥下評価をおこなっていた。



【4か月後】
ミキサー食1品+ゼリー摂取開始
（入院中に変更：各施設スタッフ来院）

【7か月後】
ミキサー食2品+ゼリー（RSST 2）
（自宅に変更：各施設に電話連絡）



自宅で作るのが大変だったため介護食の紹介を行った

【1年5か月後】
屋食のみ お粥+ミキサー食（RSST 3）
（入院中に変更：各施設プリントを配布）



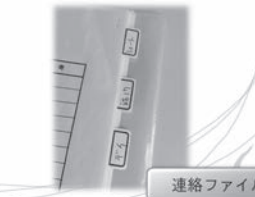
【2年2か月後】
屋食のみ お粥+ソフト食（ショートステイ）
（自宅に変更：施設に訪問）



◆お尻のトラブル（かぶれ）がたびたびあった。お嫁さんより相談を受け、医師に報告。当院看護師と訪問。



◆自宅・ショートステイ・デイサービスでの様子を集約した連絡ファイルがあり（ケアマネジャーが用意）、食事や排せつ、お尻のトラブル、施設利用時の様子などの情報が記載してある。情報収集情報共有がしやすい。



実践効果

ご本人の希望・嗜好もふまえながら、自宅でも積極的に食形態の変更を行っていった。直接施設訪問をすることで、食事内容・姿勢・介助方法などを施設スタッフと具体的に検討することができた。

このように、病院管理栄養士が関わることにより自宅でも食形態の評価や変更が可能となり、患者の希望にそった安全な食事を多職種と共に提案することができた。また、介護施設への訪問や情報提供を直接行うことで信頼関係を築くことができ、介護施設で患者の希望を取り入れた食事を安全に楽しむことができるようになった。

◆入院中の嚥下評価で食事量や食形態の変更があった際は、各施設の方に来院していただき、情報共有・統一をはかっていた。



◆自宅で食形態の調整を行い、施設で継続して実施してもらう際には、施設へ訪問、資料配布、電話などで情報共有・統一をおこなった。



結 果

胃瘻増設から3年、現在では自宅やショートステイ利用時には屋食・夕食（自宅：一口大、ショートステイ：ソフト食）を経口摂取している。

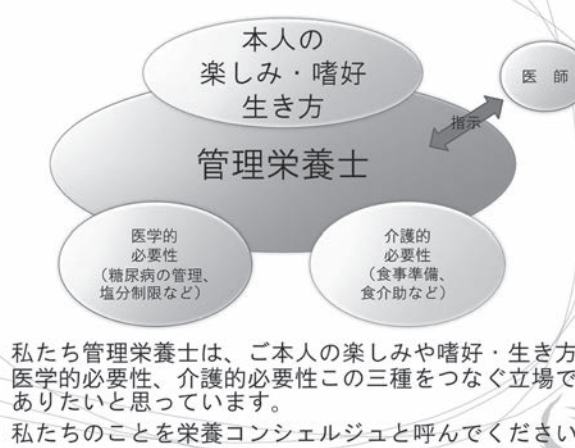
朝は眠気が強いいため経管栄養を使用している。自宅では大好きな麺類を一口大にカットして召し上がっている。



考 察

自宅でも介護施設でも患者の食べる楽しみに対して挑戦して対応していける姿勢をとれるのは、主治医との信頼関係が築けているからであり、多職種とも迅速に連携できる環境にあるからである。

また、病院管理栄養士がかかわることにより家族や介護施設から食事以外の疑問や不安を主治医や関係職種に相談・伝達することもできる。自宅では職種を超えた関わり合いは重要なことであり、管理栄養士がその役割を担うことにより医療と介護を結ぶ橋渡しができ、患者や家族にとってとても有用である。



高齢者の食べる力を維持・回復し、安全に、おいしく食べられる毎日を管理栄養士・栄養士が支援します。

●低栄養と食べる力の低下に、注意しましょう。

高齢者は、食欲の減退、食べる量の減少などで低栄養になりがちです。また、加齢とともに食べ物を噛んだり、飲み込む機能が低下してきます。毎日規則正しく食べ、良質のたんぱく質をとり、栄養バランスのとれた食事をするのが大切です。噛んだり、飲み込む機能が落ちてきた高齢者には、その状態に合わせた食べ物・食べ方が必要になってきます。また、噛むことが不完全では、食べ物に含まれる大切な栄養素も十分に摂れません。きちんと噛むことは、栄養をとるためのスタートです。口腔ケアも怠らず、毎日の食事で噛める楽しさ、味わ

う楽しさを大切にしましょう。

高齢者は、食に関連するさまざまな機能が低下してきます。



Check!!

見逃していませんか？ 噛む、飲み込む力の低下を示すサイン。

「どれだけ噛む力があるか、飲み込む力があるか」を評価するためには、食事中的高齢者をしっかり観察することが大切です。以下のよう

な状態があったら、噛む、飲み込むなど食べる機能の低下が考えられます。食べ物、食べ方、姿勢など、さまざまな点を配慮してください。

□食事にむせる

水やお茶などの流動物は、最もむせやすい食品です。また、むせる時期（食事のはじめ、食事中、食事の後半）にも注意し、食品や調理法で対処しましょう。

□食べ物が噛みにくい

義歯の不具合や口腔内の痛みや腫れも考えられます。

□痰が出やすい

嚥嚥をしていると痰が出やすく、口の中に食べ物が残りやすくなり、細菌感染につながります。

□食事中や食後に咳が出る

夜間の咳は、一度胃に入った食べ物が食道を逆流して、これを嚥嚥している可能性もあります。

□口の中やのどに食べ物や飲み物が残りやすい

うまく噛めず、飲み込みやすい食塊にまとめられないと、口の中やのどに残ります。

□食べ物の嗜好が変わった

どんな食べ物が、どのような時に食べにくいかの確認だけでなく、噛む・飲み込む機能の変化にも注意しましょう。

□食事の時間が長くなった

食事中を観察し、噛むこと、食べ物を送り込む動作など、何が原因かを尋ねましょう。

□痩せてきた、体重が減ってきた

栄養や水分不足は、体力や免疫力が低下してしまいます。

□食事をすると疲れやすい

疲れが見え始めたら、食べやすく飲み込みやすいものを出しましょう。

□微熱が出やすい、肺炎になったことがある

微熱でも高齢者は要注意。嚥嚥が原因の発熱・肺炎もあります。

お問合せ先：公益社団法人 山梨県栄養士会

電話：055-222-8593

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

公益社団法人 山梨県栄養士会 役職員一同

役職名		氏名	勤務先名
会長		田草川 憲男	山梨学院短期大学
副会長		深 澤 幸 子	あきやま医院
		平 井 美樹夫	県立北病院
部長・理事	総 務 部	小 林 貴 子	山梨大学医学部附属病院
	事 業 部	廣 瀬 真 美	中北保健福祉事務所
	学 術 部	依 田 萬 代	山梨学院短期大学
	組 織 部	堀 口 一 美	甲府相川ケアセンター
	広 報 部	大 柴 由 紀	(公財) キープ自然学校
職域事業部長・理事	学校健康教育	大神田 志 保	上野原小学校
	公 衆 衛 生	廣 瀬 真 美	中北保健福祉事務所
	研 究 教 育	依 田 萬 代	山梨学院短期大学
	勤 労 者 支 援	大 柴 由 紀	(公財) キープ自然学校
	地 域 活 動	沢 登 京 子	
	医 療	小 林 貴 子	山梨大学医学部附属病院
	福 祉	堀 口 一 美	甲府相川ケアセンター
支部長・理事	中 北	秋 山 知 子	国母小学校
	峡 北	藤 井 匡 明	特別養護老人ホーム南岳荘
	峡 東	福 永 千賀代	
	峡 南	荒 川 京 子	峡南医療センター富士川病院
	富 士・東 部	土 屋 加 織	
理事	公 衆 衛 生	佐 藤 悦 子	北杜市役所
	地 域 活 動	里 吉 ひろ美	
	福 祉	守 屋 喜久代	介護老人施設コスモ
	福 祉	土 橋 きく江	三珠保育園
監 事		大 森 光 子	大森・中込税理士事務所

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

平成 28 年 元旦
公益社団法人 山梨県栄養士会 賛助会員 (順不同) 平成 28 年 1 月 1 日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	飯 野 知 彦	食器、厨房機器
上 田 屋	055-266-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
大 塚 製 薬 甲 府 出 張 所	055-276-8581	村 上 裕 之	ポカリスエット、ネイチャーメート
オ ギ ノ 食 糧 (株)	055-222-5181	深 沢 千恵子	給食材料
(有) オズプリンティング	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
(株)三和化学研究所 東京支社	03-3232-0571	中 山 清 高	医療用食品の研究開発・販売
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	入 倉 斉 二	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	営 業 部 上 野 清 登	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	深 沢 正 道	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房設備の企画・設計・施工管理、厨房機器販売、修理・保守点検管理、厨房に関する相談業務
(株) は く ば く 管 理 本 部	0556-22-8989	興 石 修	麦の総合食品メーカー,「骨太家族」
湊 興 (株)	055-226-3742	小 野 健 一	鮮魚、煮貝
(株) マ ル ハ チ 村 松	03-6225-2503	山 田 悟 志	鰹の素、だしの素
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	055-237-8960	柳 本 剛	健康科学ヤクルト
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3539-3414	野 田 伸太郎	メラミン、ポリプロ食器
(株)H＋B ライフサイエンス 東京 支 店	03-5298-8188	吉 村 眞 一	マービー、粉飴、オリゴワンの製造販売
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	大 庭 幸一郎	医療用食品の製造、販売
東洋羽毛首都圏販売株式会社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	柳 沼 喜 市	羽毛布団
東京サラヤ (株) メディカル事業本部 東京支店 ヘルスケアⅠ課	03-3813-5630	小 林 啓 俊	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日 清 医 療 食 品 (株) 中 部 支 店	026-269-6700	崔 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食
株式会社 岩崎 松本営業所	0263-39-0501	石 和 利 康	食生活、栄養指導用食品模型製造、販売
株 式 会 社 ク リ ニ コ	03-3793-3939	鳥谷尾 直 子	病態栄養食品の普及、販促
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	天 野 雅 浩	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」の開発販売
(株) オ オ キ	055-273-6644	芦 澤 秀 雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
(株) ユ ウ シ ス テ ム	055-223-3085	山 口 竹 夫	福祉関係ソフトウェア開発、 コンピューター機器販売
株 式 会 社 明 治 関 東 支 社	042-540-7322	志 村 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
ネスレ日本(株)ネスレヘルスサイエンスカンパニー	080-1379-4874	望 月 悠 平	栄養食品（アイソカルシリーズ）販売
花王カスタマーマーケティング(株)東京リージョーン	03-6746-2373	黒 田 浩 子	花王製品の販売
長谷川化学工業株式会社	047-482-1001	本 田 光 夫	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大 陽 食 品 株 式 会 社	055-224-5415	新 津 明	業務用総合食材、老人医療用食材卸
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	洗浄剤、殺菌剤の製造、販売
株 式 会 社 セ ン だ い	055-262-1170	伊 藤 英 文	納豆の製造販売
カゴメ株式会社 東京支社	03-3861-7011	浜 井 純 子	飲料、調味料・パスタソースなどの製造・販売
伊 那 食 品 工 業 株 式 会 社	0265-78-1121	向 山 慎太郎	寒天及び介護食用寒天製品・家庭用食料品（デザート等）製造・販売
トオカツフーズ株式会社	045-564-5741	森 田 道 昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類などの調理済食品及び冷凍弁当・冷凍惣菜などの製造販売宅配
(株)日本食生活改善指導会 東京本部 関東事業所	042-730-8323	豊 澤 範 衛	無水鍋など調理器具の PR
(株)ベネフィットワン・ヘルスケア	03-6417-9981	渡 辺 由 佳	特定保健指導事業・各種健康セミナー等事業
株 式 会 社 フ ァ ン デ リ ー	03-6741-5890	梶 原 哲 也	栄養士による食事の宅配・栄養相談、医療食の通信販売、栄養士のポータルサイト運営など
株 式 会 社 お ぎ そ	0572-59-8639	矢 倉 尚	学校・保育所・病院・福祉施設の給食用食器、リサイクル強化磁器食器の製造販売。破損した強化磁器食器の回収・リサイクル等、環境に配慮した事業活動
株 式 会 社 コ ー ゲ ヅ	055-260-7311 080-3472-9586	山 梨 営 業 所 加 藤 所 良	冷凍食品・食材関連品の卸販売業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	小 沢 浩 二	食品・家庭用品等の販売
味の素冷凍食品株式会社	03-5798-8653	地 濃 雅 実	冷凍食品の研究開発・製造・販売
ホシザキ東京株式会社山梨支店	055-237-7126	宮 下 正 一	業務用厨房機器の販売及びアフターサービス
サンワフーズ株式会社	0550-83-1122	齊 藤 猛	病院・老健施設給食、社員食堂・レストラン等
株式会社インフィニバリュー	070-6988-0025	玉 川 真奈美	メニュー、新商品開発及び販路拡大・アレルギー対応食、食材のプロモーション
有限会社 糧とく東京営業所	03-5246-4203	伊 藤 喜 嗣	米（給食用）の精米・販売、厨房・医療機器の販売、業務用パン（常温・冷凍）の卸売等
株 式 会 社 モ リ イ 食 品	090-8688-1922	足 利 俊一郎	魚肉練り製品の製造販売
味の素（株）東京支社甲府出張所	055-268-1255	西 嶋 慎 治	家庭用・外食用の調味料、加工食品の販売
キッセイ薬品工業（株）ヘルスケア事業部	0263-54-5010	藤 井 義 輝	介護・高齢者向け、腎患者向け食品の開発、販売
ライオンハイジーン株式会社	03-5819-6667	本 多 美 邦	業務用洗剤、除菌剤の製造販売 総合衛生管理提案・診断・講習の実施
(株) 全国訪問健康指導協会	03-5209-8910	西 尾 俊 英	特定保健指導事業



事務局からのご案内



◎毎年の会費の納入は自動引落でお願いします。（毎年4月10日に引落します）

自動引落とし手続きは、山梨中央銀行本・支店、又はゆうちょ銀行で自動払込利用申込を行って下さい。手続きには、通帳と印鑑が必要です。

振替指定口座（中銀）または払込先（ゆうちょ）は、下記の会費振込先のそれぞれの口座です。

☆山梨中央銀行の指定口座

山梨中央銀行甲府駅前支店
（普通）287296
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 108 円

☆ゆうちょ銀行の指定口座

口座 10890 - 11752671
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 25 円

◎平成28年度 年会費の納入のお願い

自動引落としの手続きをとられていない会員は、平成28年3月31日(木)までに納入をお願いします。納入先は上記、山梨中央銀行又は、ゆうちょ銀行の指定口座をお願いします。

山梨中央銀行 (ATM) (窓口扱)

山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	108 円	216 円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	216 円	324 円

ゆうちょ銀行

通帳から振替（窓口扱）	144 円
通帳から振替（ATM扱）	無 料
現金を窓口で払込	540 円

◎平成28年度 正会員会員証について

平成24年度より会員証は、5年更新のカード形式となっております。（平成24年～28年まで有効）そのため、平成28年度まで会員証の送付はありませんので、ご了承下さい。なお、紛失の場合は有料（1,000円）にて再発行いたします。また、会費の領収書は通帳記載、コンビニ払込受領証等により代えさせていただきますが、必要な場合は、事務局までご連絡下さい。

会 費

日本栄養士会費 6,500 円
山梨県栄養士会費 7,500 円
連盟会費（連盟の口座） 2,000 円

◎会員登録事項の変更は早めにご連絡を！！

- ・住所が変わった時・・・
- ・勤務先が変わった時・・・
- ・結婚等で姓が変わった時・・・
- ・県外に引っ越しの時 ⇒ <転出届>
- ・退会の時 ⇒ <退会届>

◇これらの変更があった時は、必ず、県栄養士会へ連絡をいただくか、「会員WEBサービス」にてご自身で会員データの更新をお願いいたします。更新方法は、本誌P5「栄養士会のWEBサービスを利用しましょう！！」をご覧ください。

◎編集委員

田草川憲男、平井美樹夫、羽中田 睦
佐藤 悦子、塚原 順子、天野江津子
沢登 京子、小佐野真実、風間 智恵



事務局の年末・年始について

平成27年12月26日(土)～平成28年1月5日(火)までお休みとなります。

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

在宅訪問栄養指導等、益々栄養士が活躍出来る場が広がっています。研修会等積極的に参加し、自己研鑽を怠らず、がんばっていきましょう！！

（編集委員一同）

栄養やまなしNo.102 平成28年1月1日

発行所 公益社団法人山梨県栄養士会

〒400-0805 甲府市酒折1丁目1-11 日星ビル4階

TEL/FAX 055-222-8593

ホームページアドレス <http://www.eiyouyamanashi.com/>

メールアドレス yamaei@sky.plala.or.jp

印刷所 (有)オズプリンティング

◆山梨県栄養士会 HP の会員専用ページへの入り方 パスワード：yamaei2013